

I 岡山大学の理念, 目的, 目標等／薬学部の教育理念, 目標等

岡山大学の理念, 目的, 目標等

1 岡山大学の理念 “高度な知の創成と的確な知の継承”

人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識基盤を構築していかねばなりません。岡山大学は、公的な知の府として、高度な知の創成と的確な知の継承を通じて人類社会の発展に貢献します。

2 岡山大学の目的 “人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築”

岡山大学は、「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食料、経済、保健、安全、教育等々の困難な諸課題に対し、既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるといふ、人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目的とします。

このため、我が国有数の総合大学の特色を活かし、既存の学問領域を融合した総合大学院制を基盤にして、高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施します。

3 岡山大学の目標

(1) 教育の基本的目標

岡山大学は、大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。これまでの高度な研究活動の成果を基礎として、学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに、学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて、個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

(2) 研究の基本的目標

岡山大学におけるあらゆる活動の源泉は、先進的かつ高度な研究の推進にあります。常に世界最高水準の研究成果を生み出すことをその主題とし、国際的に上位の研究機関となるよう指向します。

(3) 社会貢献の基本的目標

社会が抱える課題を解決するため、総合大学の利点を活かし、大学の知や技術の成果を社会に還元すると同時に、積極的に社会との双方向的な連携を目指します。

(4) 経営の基本的目標

研究、教育の目標を効果的に達成するため、大学に賦存する人材、財政、施設設備などの資源をトップマネジメントにより戦略的に利活用します。

(5) 自己点検評価の基本的目標

公的機関として社会への説明責任を果たすため、研究、教育、社会貢献、管理運営のすべての分野において不断の自己点検評価を実施し公表するとともに、その結果を的確に大学改革に反映します。

薬学部の理念、目標等

1 薬学部の教育理念・目標

薬学は、人類を含む生命の実態に基づき、

- 1) 解析：生命現象，疾病原因の分子基盤を解き明かす。
- 2) 創出：機能を制御できる物質を創出する。
- 3) 活用：開発・発見された物質の活用法を最適化し，さらに新たな活用の方策を創案する。

これらの活動を担う人材を育成するために，関連する基礎及び応用の科学並びに技術を修得させ，また自ら新しい知を創生するための，観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨する。さらに，社会的使命・倫理観を持ってその成果を正しく活用し，国際社会の発展に寄与する人材を育成する。

このため，薬学部は所属学生に対し，解析・創出・活用に共通の教育基盤を与え，薬学科では特にヒトに対する物質の「活用」を担うための専門的知識を身につけた人材（薬剤師）を，創薬科学科では，解析・創出・活用に係わる研究開発を担う人材を育成する。

2 薬学部ディグリー・ポリシー

岡山大学薬学部は，所定の期間在学し，所属学科の定める授業科目を履修して，所定の単位を取得し，人々の健康の持続的・恒久的な維持・増進に貢献できる以下の5つの学士力を身につけたものに学位を授与する。

人間性・倫理観に富む教養【教養】

自然や社会，健康や疾病など多様な問題に対して関心を持ち，主体的な問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有している。また，医療や創薬に従事する人に相応しい，豊かな人間性や高い倫理観に裏打ちされた教養を身につけている。

目的につながる専門性【専門性】

医薬品の適正使用や開発研究を推進する実践的能力を発揮するための生命科学，疾病，医療に関する幅広い専門知識と技能を身につけている。

情報を的確に収集・活用できる情報力【情報力】

医療領域のみならず，自然や社会の幅広い領域の情報を自ら収集・分析し，正しく活用できる能力を有すると共に，効果的に情報発信できる。

時代と社会をリードする行動力【行動力】

医療領域のみならず，社会生活に求められるコミュニケーション能力，グローバル化に対応した国際感覚や言語力を有している。また，人との共感的態度を身につけ，地球規模から地域社会に至るまで，時代と社会をリードする行動ができる。

生涯に亘る自己実現力【自己実現力】

スポーツ・文化活動等に親しむことを含めて，生涯に亘って自己の成長を追求し，自立した個人として日々を享受する。また，薬学や生命科学の発展に寄与するため，高い学習意欲を持ち研鑽を積むことができる。さらに，コミュニケーションを通じて，集団の中で自己研鑽の成果を共有することができる。

3 薬学部カリキュラム・ポリシー

薬学部では、本学部ディグリー・ポリシーに掲げる5つの学士力（人間性・倫理観に富む教養，目的につながる専門性，情報を的確に収集・活用できる情報力，時代と社会をリードする行動力，生涯に亘る自己実現力）を備え世界の多様な課題に取り組み，人類社会の持続的・恒久的な発展に貢献できる人材を育成するため，教養教育科目と専門教育科目で構成される体系的なカリキュラムを提供しています。

1・2年次には，外国語，リベラル・アーツ，スポーツなどの全学規模で開講される教養教育科目に加え，各学科で開講する専門基礎科目やガイダンス科目および専門科目を通じ，専門教育の基本となる知識や技術について学びます。3年次以降，各学科でより専門性の高い専門教育科目を履修するとともに，それまでの専門教育科目で修得した知識を，自ら実践・確認しより深く理解するため，実習科目が設定されています。さらに，卒業研究として各研究分野の最先端の研究テーマに取り組むことにより，それまで学習した理論，技術，知識を実践的問題に応用して，専門知識の修得のみならず課題探求能力，行動力等も身につけさせる教育を行っています。学習成果は，授業の特性に合わせ，試験・レポート・授業での課題等により，実験や実習では，授業での課題の実施状況やレポート等で総合的に評価します。課題研究では，課題への取り組み状況や成果等の発表の状況により評価を行います。また，学期ごとに各学生の学習状況を確認し，必要に応じて個人指導を行っており，一定の単位修得条件を満たした学生が，進級および学位を認定されます。

薬学科・創薬科学科の理念，目標等

1. 薬学科の教育理念・目標

薬学科では、ヒトの健康を目的として物質を活用する。すなわち薬剤師としての業務を遂行するための専門的知識・技能・態度を教育する。さらに、これらを基にした解析・創出をも含む新たな知の創出を行うために、観察力・洞察力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し、もって国際社会に貢献する人材を育成する。

2. 創薬科学科の教育理念・目標

創薬科学科では、解析・創出・活用の全てにわたり、ヒトを含む生命や、その変化（疾病・病態）との関連を視野に入れた研究開発を遂行するための専門的知識技能を教育する。さらに、これらを基にした新たな知の創生を行うために、観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し、もって国際社会に貢献する人材を育成する。

3. 薬学科ディグリー・ポリシー

医療・衛生分野の持続的・恒久的な発展に貢献できる以下の5つの学士力を身につけたものに，学位を授与する。

人間性・倫理観に富む教養【教養】

健康や疾病のみならず，自然や社会に関する多様な問題に関心を持ち，主体的な問題解決に向けての思考力・判断力・創造力を有し，医療に従事する人に相応しい，豊かな人間性や高い倫理観に裏打ちされた教養を身につけている。

汎用的な知識と技能に基づく基礎的専門性【専門性-1】

化学物質・生体分子・天然物質に関する総合科学の基礎的な知識と技能を身につけている。

ヒトの健康と医薬品に関わる知識と技能に基づく応用的専門性【専門性-2】

指導的立場で、医薬品の適正使用を推進し、医療現場で生じ得る様々な問題を発見、解決できる薬剤師としての高い専門的知識と技能を身につけている。

臨床・研究に関わる専門性と倫理観【専門性-3】

臨床・研究に携るために必要な基礎的能力と倫理観を身につけている。

情報を的確に収集・活用できる情報力【情報力】

医療、疾病、医薬品のみならず、自然や社会の幅広い領域の情報を自ら収集・分析し、正しく活用できる能力を有すると共に、効果的に情報発信できる。

時代と社会をリードする行動力【行動力】

薬剤師として求められるコミュニケーション能力、グローバル化に対応した国際感覚を有し、人との共感的態度を身につけ、地球規模から地域社会に至るまで、時代と社会をリードする行動ができる。

生涯に亘る自己実現力【自己実現力】

生涯に亘って自己の成長を追求し、自立した個人として日々を享受すると共に、医療の進歩と薬学の発展に寄与するため、高い学習意欲を持ち研鑽を積むことができる。さらに、コミュニケーションを通じて、集団の中で自己研鑽の成果を共有することができる。

4. 創薬科学科ディグリー・ポリシー

創薬・医療分野の持続的・恒久的な発展に貢献できる以下の5つの学士力を身につけたものに、学位を授与する。

人間性・倫理観に富む教養【教養】

健康や疾病のみならず、自然や社会に関する多様な問題に関心を持ち、主体的な問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し、創薬科学を担い生命科学のフロンティアで活躍する人に相応しい、豊かな人間性や高い倫理観に裏打ちされた教養を身につけている。

汎用的な知識と技能に基づく専門性【専門性-1】

化学物質・生体分子・天然物質に関する総合科学の基礎的な知識と技能を身につけている。

創薬研究に関わる専門性【専門性-2】

創薬研究の実践的能力を発揮するため、化学系、物理系領域並びに生命科学、疾病、医療等の生物系、医療系領域に関する幅広い専門知識と技能を身につけている。

情報を的確に収集・活用できる情報力【情報力】

生命科学のみならず、自然や社会の幅広い領域の情報を自ら収集・分析し、正しく活用できる能力を有すると共に、効果的に情報発信できる。

時代と社会をリードする行動力【行動力】

創薬科学を担い生命科学のフロンティアで活躍する人に求められるコミュニケーション能力、グローバル化に対応した国際感覚を有し、人との共感的態度を身につけ、地球規模から地域社会に至

るまで、時代と社会をリードする行動ができる。

生涯に亘る自己実現力【自己実現力】

スポーツ・文化活動等に親しむことを含めて、生涯に亘って自己の成長を追求し、自立した個人として日々を享受する。また、次世代の創薬科学を担い生命科学のフロンティアで活躍するために、高い学習意欲を持ち研鑽を積むことができる。さらに、コミュニケーションを通じて、集団の中で自己研鑽の成果を共有することができる。

5 薬学科コンピテンシー

学士力	学修目標 (学部DP)	「学修成果 (LCOs)」 日本語	「学修成果 (LCOs)」 英語	関連するコア・コンピテンシー 日本語	関連するコア・コンピテンシー 英語
教養	人間性・倫理観に富む教養【教養】 健康や疾病のみならず、自然や社会に関する多様な問題に関心を持つ。また、主体的な問題解決に向けての思考力・判断力・創造力を有し、医療に従事する人に相応しい、豊かな人間性や高い倫理観に裏打ちされた教養を身につけている。	健康や疾病はもとより、自然や社会の多様な問題に関心を持ち、論理立てて説明できる。	Ability to demonstrate interest in a wide range of environmental issues and social problems, including health and public welfare.	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	Basic Knowledge of Humanities, Society, and Nature
		様々な問題について、多面的に捉え、論理的に筋道を立てて解決できる。	Ability to analyze a variety of issues from multiple perspectives to provide logical solutions.	問題解決力	Problem-solving Skills
		医療人としての教養とともに、倫理観、使命感および責任感を持って行動できる。	Ability to demonstrate a commitment to professional ethic codes and demonstrate a sense of duty and responsibility in line with medical training.	倫理観	Ethical Perspectives
専門性	汎用的な知識と技能に基づく基礎的専門性【専門性-1】 化学物質・生体分子・天然物質に関する総合科学の基礎的な知識と技能を身につけている。	化学物質・生体分子・天然物質に関する総合科学の基礎的な知識を習得している。	Ability to acquire basic knowledge in the field of integrated science related to chemical substances, biomolecules, and natural substances.	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	Basic Knowledge of Humanities, Society, and Nature
		化学物質・生体分子・天然物質に関する総合科学の基礎的な技能を習得している。	Ability to acquire basic skills in the field of integrated science related to chemical substances, biomolecules, and natural substances.	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	Basic Knowledge of Humanities, Society, and Nature
	ヒトの健康と医薬品に関わる知識と技能に基づく応用的専門性【専門性-2】 指導的立場で、医薬品の適正使用を推進する。また、医療現場で生じ得る様々な問題を発見、解決できる薬剤師として、高い専門的知識と技能を身につけている。	薬剤師として医療現場で活躍する上で必要な医薬品に関わる高い専門的知識を習得している。	Ability to acquire the expertise required to work as a pharmacist.	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	Basic Knowledge of Humanities, Society, and Nature
		薬剤師として医療現場で活躍する上で必要な医薬品に関わる高い専門的知識を習得している。	Ability to acquire the technical skills required to work as a pharmacist.	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	Basic Knowledge of Humanities, Society, and Nature
	臨床・研究に関わる専門性と倫理観【専門性-3】 臨床・研究に携わるために必要な基礎的能力と倫理観を身につけている。	医療現場での臨床研究に携わる上で必要な基礎的知識と技能を習得している。	Ability to acquire the basic knowledge and skills required for clinical research.	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	Basic Knowledge of Humanities, Society, and Nature
情報力	情報を的確に収集・活用できる情報力【情報力】 医療、疾病、医薬品のみならず、自然や社会の幅広い領域の情報を自ら収集・分析し、正しく活用できる能力を有すると共に、効果的に情報発信できる。	物事に対して、幅広く興味を持ち、必要に応じて自ら情報を収集して選択し、正しく分析できる。	Ability to demonstrate a wide range of interests and independently collect and critically analyze information.	情報リテラシー	Information Literacy
		収集・選択した情報とその分析結果を基に、正しく判断できる。	Ability to use information and data analysis results appropriately.	論理的思考力	Critical Thinking Skills
		情報を適切に分析し、判断して得た成果を効果的に発信できる。	Ability to present information and findings effectively.	数量的スキル	Quantitative Reasoning
行動力	時代と社会をリードする行動力【行動力】 薬剤師として求められるコミュニケーション能力、グローバル化に対応した国際感覚を有する。また、人との共感的態度を身につけ、地球規模から地域社会に至るまで、時代と社会をリードする行動ができる。	医療現場において、言語的または非言語的な意思疎通ができる。	Ability to communicate effectively using verbal and non-verbal communication skills when practicing medicine.	コミュニケーション・スキル	Communication Skills
		医療人となることを自覚し、共感的な態度を持って人と接することができる。	Ability to demonstrate empathy as a medical professional.	チームワーク・リーダーシップ	Teamwork and Leadership
		医療人として責任感を持ち、自己課題を発見し、解決できる。	Ability to identify social issues and provide solutions as a medical professional.	問題解決力	Problem-solving Skills
自己実現力	生涯に亘る自己実現力【自己実現力】 生涯に亘って自己の成長を追求し、自立した個人として日々を享受すると共に、医療の進歩と薬学の発展に寄与するため、高い学習意欲を持ち研鑽を積むことができる。さらに、コミュニケーションを通じて、集団の中で自己研鑽の成果を共有することができる。	医療社会への貢献を目標として、積極的に必要な専門的知識・技能の探求を計画的に実行できる。	Ability to execute a plan to acquire the knowledge and skills required of a medical professional to contribute to the medical community.	生涯学習力	Lifelong Learning Skills
		医療社会への貢献を目標として、コミュニケーションを通じて、集団の中で自己研鑽の成果を共有できる。	Ability to share personal progress with others to contribute to the medical community.	市民としての社会的責任	Responsible Citizenship

6 創薬科学科コンピテンシー

学シカ	学修目標 (学部DP)	「学修成果 (LCOs)」 日本語	「学修成果 (LCOs)」 英語	関連するコア・コンピテンシー 日本語	関連するコア・コンピテンシー 英語
教養	人間性・倫理観に富む教養【教養】 健康や疾病のみならず、自然や社会に関する多様な問題に関心を持ち、主体的な問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有する。また、創薬科学を担い生命科学のフロンティアで活躍する人に相応しい、豊かな人間性や高い倫理観に裏打ちされた教養を身につけている。	健康や疾病はもとより、自然や社会の多様な問題に関心を持ち、論理立てて説明できる。	Ability to demonstrate interest in a wide range of environmental issues and social problems, including health and public welfare.	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	Basic Knowledge of Humanities, Society, and Nature
		様々な問題について、多面的に捉え、論理的に筋道を立てて解決できる。	Ability to analyze a variety of issues from multiple perspectives to provide logical solutions.	問題解決力	Problem-solving Skills
		専門性を持って活躍する人としての教養、倫理観、使命感および責任感を持って行動できる。	Ability to demonstrate a commitment to professional ethics and a sense of duty and responsibility in line with specialized training.	倫理観	Ethical Perspectives
専門性	汎用的な知識と技能に基づく専門性【専門性-1】 化学物質・生体分子・天然物質に関する総合科学の基礎的な知識と技能を身につけている。 創薬研究に関わる専門性【専門性-2】 創薬研究の実践的能力を発揮するため、化学系、物理系領域と生命科学、疾病、医療等の生物系、医療系領域に関する幅広い専門知識と技能を身につけている。	化学物質・生体分子・天然物質に関する総合科学の基礎的な知識を習得している。	Ability to acquire basic knowledge in the field of integrated science related to chemical substances, biomolecules, and natural substances.	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	Basic Knowledge of Humanities, Society, and Nature
		化学物質・生体分子・天然物質に関する総合科学の基礎的な技能を習得している。	Ability to acquire basic skills in the field of integrated science related to chemical substances, biomolecules, and natural substances.	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	Basic Knowledge of Humanities, Society, and Nature
		創薬研究の現場で実践的能力を発揮する上で必要な幅広い専門的知識を習得している。	Ability to acquire expertise required for drug discovery and development.	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	Basic Knowledge of Humanities, Society, and Nature
		創薬研究の現場で実践的能力を発揮する上で必要な幅広い専門的スキルを習得している。	Ability to acquire technical skills required for drug discovery and development.	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	Basic Knowledge of Humanities, Society, and Nature
情報力	情報を的確に収集・活用できる情報力【情報力】 生命科学のみならず、自然や社会の幅広い領域の情報を自ら収集・分析し、正しく活用できる能力を有すると共に、効果的に情報発信できる。	物事に対して、幅広く興味を持ち、必要に応じて自ら情報を収集して選択し、正しく分析できる。	Ability to collect reliable information and critically analyze it.	情報リテラシー	Information Literacy
		収集・選択した情報とその分析結果を基に、正しく判断できる。	Ability to use information and data analysis results appropriately.	論理的思考力	Critical Thinking Skills
		情報を適切に分析し、判断して得た成果を効果的に発信できる。	Ability to present information and findings effectively.	数量的スキル	Quantitative Reasoning
行動力	時代と社会をリードする行動力【行動力】 創薬科学を担い生命科学のフロンティアで活躍する人に求められるコミュニケーション能力、グローバル化に対応した国際感覚を有している。また、人との共感的態度を身につけ、地球規模から地域社会に至るまで、時代と社会をリードする行動ができる。	専門分野の国際的な現場で活躍するために必要な多言語力を身につけ、意思疎通ができる。	Ability to practice the language skills necessary to convey ideas at events and projects with participants from around the world.	コミュニケーション・スキル	Communication Skills
		専門分野の研究を実施する中で、協調性を持って積極的に取り組むことができる。	Ability to actively collaborate with others while conducting research in a specialized field.	チームワーク・リーダーシップ	Teamwork and Leadership
		専門分野において、必要とされる自己課題を発見し、解決できる。	Ability to identify and solve personal challenges in your area of expertise.	問題解決力	Problem-solving Skills
自己実現力	生涯に亘る自己実現力【自己実現力】 スポーツ・文化活動等に親しむことを含めて、生涯に亘って自己の成長を追求し、自立した個人として日々を楽しむ。また、次世代の創薬科学を担い生命科学のフロンティアで活躍するために、高い学習意欲を持ち研鑽を積み重ねることができる。さらに、コミュニケーションを通じて、集団の中で自己研鑽の成果を共有することができる。	日常から、強い自己啓発の意欲を持ち、様々な物事に対して積極的に取り組むことができる。	Ability to demonstrate a strong desire for self improvement and actively set self-improvement goals.	生涯学習力	Lifelong Learning Skills
		必要な専門的知識を学び、積極的に実践での応用力の向上を計画的に実行できる。	Ability to acquire expertise related to your field of study and actively pursue practical skills in a systematic way.	生涯学習力	Lifelong Learning Skills

7. 薬学科カリキュラム・ポリシー

(1) 教育課程の編成

薬学全般に関わる専門教育科目のカリキュラムを策定しています。また、薬学のみならず、世界の多様な課題に取り組むための社会科学や地球規模の諸問題も理解し、人類社会の持続的・恒久的な発展に貢献できるよう、多彩な教養教育科目と薬学部共通の専門基礎科目を学びます。

1年次には、教養教育科目、ガイダンス科目、専門基礎科目、および物理化学、分析化学、有機化学、生物化学などの専門科目を学びます。2年次以降では、それらと有機的に関連付けた、衛生系、薬理・薬剤系の応用科目が設定されています。3年次以降は、臨床に関わる専門教育科目と、3年次実験の基礎を修得するための実験科目が設定されています。また、3年次・4年次では、卒業研究を希望する研究室に配属し、課題研究のための準備教育を、5年次・6年次では、配属された研究室での課題研究を中心とした密度の濃い専門教育を提供しています。最先端の科学を自ら実施することで、社会の要請に応える専門知識と実践的技術を獲得できる内容になっています。

(2) 教育・学修方法

少人数授業、能動型形態の授業、ゼミナール、実験科目を多数提供しています。講義科目と実験科目の連携により、観察—仮説—実証—報告という薬学に共通する方法論を身につけるための授業が提供されています。また、これらの授業の中には、発表や議論する機会が設けられているものも多数あり、情報処理能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、共感力、国際性などが身につきます。

(3) 学修成果の評価

講義内容に関する理解度は、筆記試験によって評価します。実験科目と一部の講義では、レポート課題によって理解度、論理的思考力、表現力を評価します。能動型形態の授業においては、主にプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を評価します。3～5年次進級のための修得単位要件を設定しています。

「人間性・倫理観に富む豊かな教養」を涵養するために、教養教育科目やガイダンス・入門・倫理科目を提供します。

「汎用的な知識と技能に基づく基礎的専門性」を修得するために、物理・化学・生物系の基礎科目と実習関連科目を提供します。

「ヒトの健康と医薬品に関わる知識と技能に基づく応用的専門性」を培うために、基礎科目に関連付けた衛生系、薬理・薬剤系の応用科目と実習関連科目を提供します。

「臨床・研究に関わる専門性と倫理観」を培うために、応用科目に関連付けた臨床系科目と実務実習・卒業研究を提供します。

「情報を的確に収集・活用できる情報力」を獲得するために、合目的に広範な情報を収集し、的確に分析・精選した情報を活用できる演習・実習関連科目を提供します。

「時代と社会をリードする行動力」を身につけるため、日本語でのコミュニケーション能力を培う科目、外国語教養教育科目、実践能力を培う実務実習や卒業研究を提供します。

「生涯に亘る自己実現力」を育成するために、共感的態度やコミュニケーション能力を培う教養教育科目と早期体験科目、及びこれらを礎に他者との関わり方を学ぶ実習関連科目を提供します。

8. 創薬科学科カリキュラム・ポリシー

(1) 教育課程の編成

薬学全般に関わる専門教育科目のカリキュラムを策定しています。また、薬学のみならず、世界の多様な課題に取り組むための社会科学や地球規模の諸問題も理解し、人類社会の持続的・恒久的な発展に貢献できるよう、多彩な教養教育科目と薬学部共通の専門基礎科目を学びます。

1年次には、教養教育科目、ガイダンス科目、専門基礎科目、および物理化学、分析化学、有機化学、生物化学などの専門科目を学びます。2年次以降では、それらと有機的に関連付けた、衛生系、薬理・薬剤系の応用科目が設定されています。3年次には、実験の基礎を修得するための実験科目が設定されています。3年次後半には、4年次で行う卒業研究を希望する研究室に配属し、課題研究のための準備教育を、4年次では、配属された研究室での課題研究を中心とした密度の濃い専門教育を提供しています。最先端の科学を自ら実施することで、社会の要請に応える専門知識と実践的技術が獲得できる内容になっています。

(2) 教育・学修方法

少人数授業、能動型形態の授業、ゼミナール、実験科目を多数提供しています。講義科目と実験科目の連携により、観察—仮説—実証—報告という薬学に共通する方法論を身につけるための授業が提供されています。また、これらの授業の中には、発表や議論する機会が設けられているものも多数あり、情報処理能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、共感力、国際性などが身につきます。

(3) 学修成果の評価

講義内容に関する理解度は筆記試験によって評価します。実験科目と一部の講義においては、レポート課題によって理解度、論理的思考力、表現力を評価します。能動型形態の授業においては、主にプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を評価します。3～4年次進級のための修得単位要件を設定しています。

「人間性・倫理観に富む豊かな教養」を涵養するために、教養教育科目や倫理教育を含むガイダンス科目を提供します。

「目的につながる専門性」を修得するために、物理化学・分析化学、有機・無機化学、生命科学系の基礎科目を提供するとともに、それらと有機的に関連付けた薬理・薬剤系の応用科目を提供します。

「情報を的確に収集・活用できる情報力」を獲得するために、合目的に広範な情報を収集し、的確に分析・精選した情報を活用できる演習・実習科目を提供します。

「時代と社会をリードする行動力」を身につけるため、研究能力を培う薬学系実習や卒業研究実習を提供します。

「生涯に亘る自己実現力」を育成するために、コミュニケーション能力と共感的態度を培う教養教育科目を提供します。